

# 若鷲

ホームページ



上野原中学校学校だより  
第 11 号

令和8年2月26日発行

文責 校長 長谷川英信

## 高校入試、卒業証書授与式！ 義務教育終了に向けラストスパート！！

2026年スタートして2ヶ月が過ぎようとしています。学校では、インフルエンザの流行で「3年生に贈る会」が3月6日に延期になるなど、慌ただしい日々が続きました。先日、3年生は最後の定期テストを終え、着々と中学校の教育課程を終えようとしています。中学校の卒業は、義務教育の終了となります。かつては、就職する者もいて、社会に出る生徒や、遠い高校に進学し一人暮らしをする生徒など大人として自立することが求められた時期でもありました。現在では、ほぼ全員が進学希望となっており、進学後の生活も学校に通うという点では、中学校と変わらず、意識を変えるための教師側の取組もそこまでではなくなってきていると思います。しかし、成人年齢が下げられたり、様々な犯罪の低年齢化の様相から、自立した一人の大人としての考えを持てるようになることは、とても必要ではないかと感じています。義務教育は、親として子供に学校に通わせる責任の下で子供のためにと親は一生懸命働いて養ってきたと思います。これからは、子供を一人の大人として扱い、自分で決め責任を持たせることの大切さを分かっていく関わりへと変えていく必要があるのではないのでしょうか。ですから生徒達は、義務教育の終了は人生の一つの大きな節目であると知るべきです。小学校5年生は、2分の1成人式の取組で夢を持ち両親に感謝する取組をしています。中学校でも卒業式は、自分たちの成長を両親に向かって見せ、感謝の気持ちを伝えることで、自立を表明する機会であると考えています。今の子どもたちは、人との関わりの中で、相手を素直に認め、自分の本音をさらけ出し、関係を築いていくことがかつての生徒より下手であると思います。ですのでけんかして一人で仲直りができません。誰か他の人が間に入り、こじれた関係を丁寧にほぐしながら互いに認めさせ、自分の至らなかつたところを言葉に出し、反省して互いに謝ることを中学校の生徒指導では教えてきました。今後は、自分一人で相手とちゃんと仲直りできるようになってもらいたいです。この1年間、校長として伝えてきたことがあります。それは、「相手のために頑張れる人になれ」です。相手を認めることは、自分の弱さを認めることです。自分の思いのみを優先するのではなく、相手を大切に尊重することで自分の成長へと結びつける。このことが将来社会を生きていく上で、とても必要であると私は思います。上中の学校教育目標の「自利利他」の精神そのものです。この精神をしっかり身につけ、3年生には卒業してもらいたいと思います。学校は、人として生きる力を身につけるところです。その集大成が、卒業式に現れるよう、職員が一丸となって残り少ない3年生との日々を過ごしていきたいと思っています。保護者の皆様、あとひと頑張り、一緒によろしく願いたします。



## 3年社会科で、生徒達が上野原市へ まちづくりの提言をする授業を行いました！

3年生はこれまで社会科の授業で「未来の上野原市のまちづくり」について学習を深めてきました。夏休み明けに上野原市の政策秘書課の山田さんに上野原市の取組と課題について講義を受けたことを始まりに上野原市の今後について生徒一人一人が「住みやすいまちづくり」について調べ、現状を知り改善するための手立てを考える学習に取り組んできました。3学期に入ってもう一回、山田さんに来ていただき現状の取組について2回目の講義を受けました。それを受け、各自で自分たちができる取組について、考えて政策提言作りを進めてきました。今回、代表の2名の生徒が発表する会を2月24日の5校時に実施しました。発表者はそれぞれの立場を明確にして提言していました。1人は市民としての提言で、移住政策について提案しました。もう一人は市議会議員の立場で子育て政策について提案していました。2人ともパソコンを使って、現状と課題をしっかりと調べ政策として行いたいことを自分の言葉でしっかり伝えていました。当日は、市議会議員の方々7名と、市の政策秘書課の山田さん、CSの田口さん、市教育委員会から2名、さらに多くの保護者の参加がありました。授業の中で、生徒の提言についてよく調べていて、政策としてもしっかりしたものであることや、中学生がこれだけ考えていることにも驚いていました。さらに、参観者の中には大学生もいて今後、上野原市への移住を考えていることや、卒業したらアパレル関係の会社を起業したいことなど話してくれ、上野原市の外から見た魅力についても語ってくれました。生徒達は、今は都会に憧れて上野原市を出ようと考えている生徒が多い状況ですが、きっと上野原を外から見たとき、上野原の魅力が再発見して、上野原に戻ってくる生徒もたくさんいると思います。そのとき、我々大人達が住みやすい上野原をしっかり作っておかないとならない、そんな思いにさせてくれる中学生の提言でした。市の山田さんも上野原に移住してきた方です。上野原の魅力について私などは、中にいるため気づいていないことが多くあると思います。「まだ知らないだけ上野原」の政策に触れ、上野原の魅力を学校としても生徒と一緒に発信していこうと思いました。3年生の取組が、彼らにも学び多く、また周りの我々にも影響を与えてくれた素晴らしい授業でした。参加者の皆様、本当にありがとうございました。



※表題の中のQRコードを読み取り、是非とも、上野原中のホームページもご覧ください。